

示す性質を失わないからである。Web は一般的には匿名性があるとしても、プロバイダーの協力を得て特定できる以上、なお特定の者といえることになるわけである。

次に、チャット形式のサイトを開設した場合、さらに「特定性」の取得が容易となる。チャットの場合、呼び掛けに応じた者との間でコミュニケーションがなされることが当初から予定されているのである。コミュニケーションが成立した時点で特定の者との間の共犯関係を肯定することが可能となる。そのコミュニケーションを通して、特定の者に対して自殺する意思を形成させることができるので、自殺教唆罪が成立し得るわけである。

また、共同して自殺する仲間を呼び掛ける募集形式のサイトの場合も、応募者がアクセスした時点で特定性が獲得されることになる。自殺を共同して実行する仲間を作るということは、特定の者に対して集団自殺を行う意思を形成することを意味するのである。したがって、この場合には自殺教唆罪の成立があり得るわけである。

平成16年度厚生労働科学特別研究
「Web サイトを介しての複数同時自殺の実態と予防に関する研究」
研究班名簿

主任研究者	上田 茂	国立精神・神経センター精神保健研究所
分担研究者	竹島 正	国立精神・神経センター精神保健研究所
	張 賢徳	帝京大学医学部附属溝口病院精神神経科
	堀口 逸子	順天堂大学医学部
研究協力者	赤松 利恵	お茶の水女子大学生生活科学部
	柄本三代子	法政大学ほか
	川野 健治	国立精神・神経センター精神保健研究所
	川端 博	明治大学法科大学院・法学部
	坂元 章	お茶の水女子大学
	清水 新二	奈良女子大学生生活環境学部
	西口 直樹	国立精神・神経センター精神保健研究所
	町田 宗鳳	東京外国語大学
事務局	小山 智典	国立精神・神経センター精神保健研究所
	山田 治子	国立精神・神経センター精神保健研究所

(50音順)

平成 16 年度厚生労働科学研究費補助金
(厚生労働科学特別研究事業)

「Web サイトを介しての複数同時自殺の実態と
予防に関する研究」研究報告書

発 行 日 平成 17 年 3 月
発 行 者 「Web サイトを介しての複数同時自殺の実態と
予防に関する研究」主任研究者 上田 茂
発 行 所 国立精神・神経センター精神保健研究所
〒187-8502 東京都小平市小川東町 4-1-1
TEL : 042-346-2101 FAX : 042-346-2107
